

令和7年度 山梨県立甲府工業高等学校 「全国募集」 募集要項

1 募集定員（見込み）

工業科：機械科、電気科、電子科、建築科、土木科 計7名程度
(内訳) (2) (2) (1) (1) (1)

※ 募集定員は11月上旬に決定し、発表する予定です。

2 応募資格

- (1) 本校を志望する動機や理由が明白・適切であり、3(1)の「出願の条件」に適合する者
- (2) 中学校までの学習内容や基本的な生活習慣が身につけており、高校入学後も明確な進路目標を持って学習や部活動に熱心に取り組む者
- (3) 「身元引受人」が確保できる者

※ 身元引受人とは、生徒の健康、食生活および日常の生活に関する見守りを行い、生徒の状況を保護者や学校と共有する等の役割を担う方です。基本的には山梨県内に居住する親戚等を想定していますが、該当する方がいない場合は学校にご相談ください。

3 選抜方法

- (1) 出願の条件

工業科B

本校の本年度全国募集対象部に関する活動において顕著な成績をあげ、入学後も積極的、継続的にその活動を続ける意志の強い者

【本年度全国募集対象部】

野球（男）、バレーボール（男）、卓球（男）、柔道（男）

- (2) 面接

実施のねらい	実施形態等	検査時間
本校及び志望学科を志望する動機と、興味・関心、学習意欲、入学後の高校生活への意欲、将来の希望や特技等を確認する。	集団面接	15分程度

- (3) 本校で定める検査

検査方法	検査内容
個性表現	時間：5分程度 出願の条件の工業科Bにあてはまる自己の実績と今後の取り組み等についてのプレゼンテーション

(4) 選抜資料比重

区 分	調査書	面接	所見	個性表現
工業科B	50	20	10	20

※ 調査書の学習の記録については、第1学年から第3学年を評価の対象にする。
第1学年の評定、第2学年の評定、第3学年の評定の比は、1：1：2とする。

(5) 提出書類等

①提出書類

R7甲府工業高様式【前期募集・工業科B】活動実績報告書

②添付書類

実績を証明する資料（賞状、新聞等）のコピー（A4判）をR7甲府工業高様式【前期募集・工業科B】活動実績報告書の後ろにホチキス留めして提出する。

③書類の入手方法

R7甲府工業高様式【前期募集・工業科B】活動実績報告書については、本校のホームページで令和6年10月1日（火）以降にダウンロードすることができる。

URL <https://www.kofu-th.ed.jp/>

4 学生生活のサポート

本校には男子寮があり、現在、野球部を中心とした、運動部の一部の生徒が寮生活を送っています。

寮の詳細については、本校までお問い合わせ下さい。

5 学校の特徴

本校は大正6年に創設され、産業界に多くの技術者を送り出し、その活躍は各分野で高い評価を得ています。

全日制には機械・電気・電子・建築・土木の5学科が設置されており、生徒は充実した快適な環境のもとに、学習に部活動に活発な学校生活を送っています。

校舎には、激しく変化する技術革新に対応できる、工作機械や各種実験装置など多様で近代的な設備を備え、21世紀の新時代を切り開いていく生徒の個性や能力を十分に伸ばすことのできる快適な教育環境が整えられています。

また、文部科学省指定のスーパー・プロフェッショナル・ハイスクール（SPH）事業（平成29年度から令和3年度までの5年間実施）で培った実践研究や取り組みを活かし、各学科の特色ある学びを通して、技術者として必要となる知識や技術・技能の習得を推進しています。令和6年度は、「DXハイスクール」にも指定され、探究的・教科横断的な工業教育を通じて、これからの時代に必要となる人材の育成に努めているところです。

今までの伝統・校風を重んじる中で、教育信条にも謳われている「人間教育」の基礎となる部活動の強化、専門教科の深化を図り工業技術者の養成を目指した「キャリア教育」の充実、そして工業系大学進学を目指した教育を実践し、「ものづくり」「進学」「部活動」で全国トップレベルの工業高校を目指しています。

6 本校の部活動

本校では文武両道を目指しており、県内で最も部活動が盛んな公立高校です。山梨県独自で行われている全ての運動部が参加する『山梨県高等学校総合体育大会』では、男子総合順位において、平成30年度から令和4年度まで（令和2年度は中止）4連覇を成し遂げ、今年度も第3位という素晴らしい結果を残しました。また、昨年度は野球部が春季関東地区高校野球山梨県大会で優勝を果たしました。

令和5年度インターハイ出場部：弓道、自転車、柔道（相撲）、新体操、卓球、ボクシング

令和5年度 関東大会 出場部：野球、卓球、新体操、ボクシング、自転車、弓道、山岳、陸上・駅伝、柔道（相撲）、バドミントン、空手、剣道、バレーボール

野球部：春5回、夏8回、計13回の甲子園出場

平成30年度関東大会出場、令和5年度関東大会出場

バレーボール部：関東大会21年連続38回出場

卓球部：令和4年度インターハイ団体出場、令和5年度インターハイ個人出場

柔道部：関東大会20年連続44回出場

7 自ら学ぶ意欲を尊重する学科の内容

【機械科】～「ものづくり」の楽しさから創意工夫への挑戦～

産業機器、自動車、ロボット、民生品など生活を豊かにするための「ものづくり」に必要な知識、技術・技能を身につけ、将来これらの幅広い分野で活躍できる人材を育成する。

【電気科】～パワーエレクトロニクス最先端技術を目指して～

電気基礎理論、電力送配電、電気機器制御、太陽光・風力発電技術などについて幅広く学び、電気工事士などの資格を取得し、電力関連企業や各種メーカーの生産設備の管理技術者として活躍できる人材を育成する。

【電子科】～高度情報化社会をリードする力を～

コンピュータ、ロボット、携帯電話、テレビなどを構成する電子回路やソフトウェア及びコンピュータネットワークなどの通信について基本的なことを学び、これらの応用品の製造・検査の分野で活躍できる人材を育成する。

【建築科】～一人ひとりの感性と能力を発揮させる～

住宅から高層建築まで、様々な建築物の設計方法や造り方を学習し、将来この分野で活躍できる人材を育成する。

【土木科】～知識と技術で人々の暮らしをつくる～

道路・鉄道・トンネル・橋・ダムなどの構造物を建設するための設計と測量を学習し、将来この分野で活躍できる人材を育成する。